

Tokyo Fureai Medical Coop
東京ふれあい医療生協

LINE公式アカウント
登録をお願いします！
http://www.fureaico-op.info
配布停止は4面をご覧ください

生命の炎

いのち

生協の現況(2023年11月現在)

組合員数=15,399名
出資金総額=439,833千円

●発行所:東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004
東京都北区堀船3-27-12
電話 (03)3911-3630

●編集:『生命の炎』編集委員会
●発行人:百瀬 文也

梶原診療所 利用委員会 掲示板

虹の声

「健診時のほか内科、一般診療時の血液検査結果について」

私の場合、おおよそ1カ月(時により2カ月)後に結果説明を受けています。健康状態は、日々動きがあることを承知しています。近時、他院では30〜40分で画面に映写される例が増えているように思えます。

診療所より記名の投書だったので、ご本人へ電話しました。

建設的な意見がいろいろあります。また上手く伝わっていないと申し訳ありませんでした。採血結果に関しては「結果を早く聞きたい」と希望される方が多いので、診療前に採血をして結果をその日のうちに開ける体制を整えています。院内に血液の自動分析機を持っていますので、院内でできる検査は概ね40分程度で結果が出せます。ただし、特殊検査や北区内民健診の採血については、外注となるため特殊検査の場合は1週間、北区内民健診の場合は3週間ほどかかります。主治医にも伝えますので、来院の際には遠慮なく要望をお伝えください。

「虹の声」から

2023年3月虹の声から機関紙4面記事より「受診の際に看護師の対応が冷たかった」とのこと。

梶原診療所では、よく声をかけてくださり、対応が冷たく感じることがありませんでした。また看護士さんが別の方を早く受診させなくてはならなかったのではないのでしょうか。診療所内の掲示板に書かれています。これによって他の病院であれば、このことが書かれていることはまずありません。すばらしい優しい診療所だと私は感じています。他の病院へ移動しようと思ったことはありません。診療所にお客の言葉がけができています。接遇に対する受け止め方は人それぞれですので、これからも「二期一会の気持ち」でひとり一人丁寧に対応していきます。より多くの患者さんの期待に応えられるように努力していきますので、これからもご支援をよろしくお願いいたします。

キッズ メディカル vol.123 1歳未満の乳児は インフルエンザ 予防接種しなくて良い？

インフルエンザが猛烈な勢いで広がっています。

近頃の学校、幼稚園でも相次いで学級閉鎖が行われており、診療所には多くの方が高熱、咳、鼻水などインフルエンザ感染の症状で訪れています。

現在はインフルエンザA型のH1N3の2種類が流行していますが、1月にはB型が流行するのではないかと考えられています。

基本的な対策としては、予防接種をすることです。13歳以下は0.5mlを1回接種、3〜13歳未満は0.5mlを2回接種、6カ月〜3歳未満は0.25mlを1回接種を行っています。

の乳児には積極的な呼びかけはしていません。その理由はワクチンを打っていても抗体ができる確率が20%以下。つまり、接種しても感染するケースが多いからです。もちろんワクチンの副作用がひどいという積極的な呼びかけをしない理由です。ただ「集団生活をしているのでどうしても接種をお願いしたい」と訴えられる方には、メリット・デメリットを話し、予防接種を実施しています。

最後に最も大切なことは、0歳児以下の家族全員が予防接種を受けて、0歳児に感染させないよう予防することです。(倉信)

健康づくり委員会

掲 示 板

健康づくり講座

認知症世界の歩き方

～認知症の方が住みやすいまちづくり～

日 時 1月27(土) 14:00～
募集人数 20人(希望者多数の場合は抽選)
場 所 ふれあいセンター
講 師 小暮 和歌子

お申し込み先
ふれあい活動推進部(担当:一石)
☎03-3911-2005
(受付時間:平日9:00～17:00)

2023年度 理事会から

1. 経営状況
2023年10月 総 収 益 1億3,313万円
医 業 原 価 1,019万円
そ の 他 経 費 1億853万円
医 業 外 損 益 -58万円
経 常 剰 余 1,382万円
2. ふれあいセンタービルについて
旧梶原診療所跡地に建設してありましたふれあいセンタービルは12月15日に無事完成し竣工式を執り行うことができました。あらためて組合員の皆さま、役職員の協力に心より御礼申し上げます。今後は地域医療・地域活動の拠点として活用していきます。
3. 地域活動
オールふれあい生協仲間づくり月間は12月23日の報告会をもって終了となりました。ご協力いただきました組合員の皆さまには御礼申し上げます。
4. 方針論議
来年度方針策定に向けた論議を開始しています。
5. すずしろ医療生協
運営支援を行うすずしろ医療生協より東京ふれあい医療生協に対し合併を含めた長期的な運営方針策定について協議を行いたい旨の要請がなされました。東京都生活協同組合連合会に協力を仰ぎ、今後、医療生協を未来につなげるための協議会を設置し継続的に協議いたします。

各診療所医師の休診のお知らせ(1/4～2/15)

梶原診療所 (外來の休診は通常通り)	宮の前診療所
鶴 若 医 師 1/23(火)、1/25(木)	通常通り
ふれあいファミリークリニック	
外 来 休 診 1/17(水)AM、1/24(水)AM	

機関紙の電子化について

生命の炎の電子化を積極的に推進しております。紙の機関紙送付が不要になった場合は下記連絡先までご連絡ください。QRコードからメールアドレス読み込み可能です。メールの場合は、●氏名 ●組合員番号(わかれば) ●生年月日 ●住所を記載してください。メール宛先 ichiishi@fureaico-op.com
ふれあい活動推進部:03-3911-2005
(受付時間:平日9:00～17:00)

植物紹介②

ヨメナ (キク科)
寒い山から吹いてくる小寒い風に揺れながら、やや澄った煙や田の畦などに咲く。「ヨメナは嫁に食わずな」というくらいうまい山菜であることは、あまり知られていない。(中谷)

ご意見・ご質問・紹介したい記事などございましたらお気軽にお寄せください。

宛 先 東京ふれあい医療生活協同組合 機関紙編集委員会
〒114-0004 北区堀船3-27-12
TEL 03-3911-2005 FAX 03-5944-6015

MAIL soshiki@fureaico-op.com
メ 切 前月の第1月曜日まで。

(3月号に掲載したい場合、2月の第1月曜日までに原稿を送ってください。)
※必ず原稿を送る方の名前、住所、連絡の取りやすい電話番号を記載してください。

2023健康まつり



2023年11月12日(日)に4年ぶりに開催されました。組合員と職員が手を取り合って、寒くぐずついた天気の中、のべ2000人の来場者を迎えることができました。久しぶりの雰囲気、寒さに負けずたくさん花開く笑顔が見られました。

ふれあいセンタービル竣工！



2023年12月15日(金)、ふれあいセンタービルの内覧会と竣工式が行われ、内覧会には多くの組合員の方がご来場くださいました。また竣工式には、日本医療福祉生活協同組合連合会、きらり健康医療生活協同組合、三多摩医療生活協同組合、すずしろ医療生活協同組合、東京ほくと医療生活協同組合、ろっこう医療生活協同組合の方々もお祝いに駆けつけてくださいました。ふれあいセンタービルの詳細については、次号で紹介いたします！



竣工式では野島理事長よりふれあいセンタービルを建設してくださった三和建設工業株式会社・代表取締役 四宮友彬さんへ感謝状が手渡されました。



竣工式の様子

ふれあいセンター利用案内

使い方いろいろ 趣味や会合に利用できる
レンタルスペース

貸し出し詳細、規約については下記電話番号へお問い合わせください。

設備 トイレ(おむつ交換台あり)、電源、エアコン(冷暖房)、Wi-Fi、モニター、プロジェクター、延長コード、イス50脚、長テーブル17台、キッチン/調理器具、卓球台、ボードゲーム、キッズルーム

アクセス 都電荒川線(さくらトラム)梶原駅から徒歩1分

予約・お問い合わせ 東京ふれあい医療生活協同組合 ふれあい活動推進部
☎03-3911-2005 (受付時間:平日9:00~17:00)



〈間取り図〉

オールふれあい生協仲間づくり月間

オールふれあい仲間づくり月間へのご協力ありがとうございました

〈拡大結果〉	
新規加入	
127件	
502口	
(502,000円)	
増 資	
959件	
5,608口	
(5,608,000円)	
うち拡大活動	
203件	
1,113口	
(1,113,000円)	

東京ふれあい医療生活協は10月から11月の2ヶ月間を「オールふれあい生協仲間づくり月間」として位置づけ、安心して住み続けられるまちづくりの実現のため、生協組織基盤の強化に取り組んでいます。

この数年間は様々な地域活動が活気を失いつつありましたが、2023年の5月から新型コロナウイルスが5類感染症となり、数年ぶりにキックオフ集会や健康まつりを開催することができました。月間中は、各学習会や健康まつりの開催、昨年度に続き本格的な地域訪問行動や、各事業所での新規加入及び増資の呼びかけを実施し、多くの方とふれあい、協力いただきました。

12月には新ふれあいセンターがオープンしました。組合員の皆さまにとっての新しい地域活動拠点です。かつてのつながりを取り戻しながら、新型コロナウイルスの反省を踏まえてオンラインイベントなども活用しつつ、柔軟で新しい地域のつながりを広げていきましょう。今後とも、当生協に対するご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

日帰りバスツアー in 群馬県

今年、オールふれあい生協仲間づくり月間の中で、東京の水不足を考える学習会と題して、群馬県の奈良俣ダム見学バスツアーに取り組みました。



大型バス1台、42名が参加しました



お土産いっぱい!



ダムの役割を知るために群馬県の奈良俣ダムへ行きました

ダムに着いたときは小雨で散策はあきらめ、展望台からの見学となり、各自でダムの重要性を学びました。

ダムの目的は①大雨時の洪水の調節、②ダムに貯まった水を農業用水・工業用水・水道水として下流に送る。東京都には20%以上送られている、③ダムに貯めた水を雨が少ない時に川に流して川の自然を守る、④発電等でした。

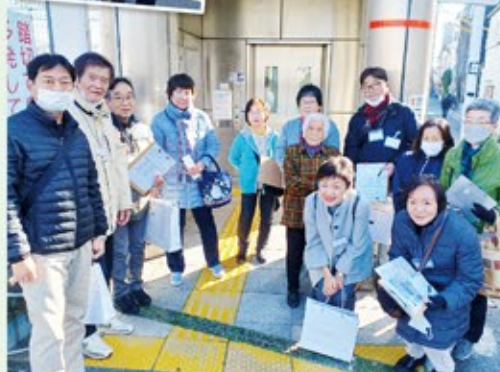
昼食後はリングリナーに向かいました。農園には赤いリングは見当たらず、黄色のリングがたくさん実っていました。品種は「名月」というそうです。

目的地に着くまでの紅葉の素晴らしさ、東京では決して見ることができない絵本に描かれているような大きな虹を見ることができ、幸せな気分をもらい、みな楽しいひと時を過ごすことができました。

次回も学べて楽しい企画を検討していきます。

上中里拡大活動

オールふれあい仲間づくり月間の最終日となる12月3日(日)、上中里支部拡大活動が行われました。



学習会



10/14に西尾久7-8丁目支部で開催された、西本医師による慢性腎臓病をテーマにした学習会



10/21に開催された医事課によるマイナ保険証の学習会

健康まつり



素敵な作品をありがとう!

夏休みに梶原診療所で開催した「メディカルキッズ」に参加された、小学2年生の上田しょうま君が「わたしの医療体験カルテ」をつくって持ってきてくれました。一つ一つの体験に写真とコメントが添えられ、とてもわかりやすくまとめられていました。

